

第25回

水シンポジウム 2021 in ぐんま

第2分科会

Gメッセ群馬・2F メインホール

オンライン

14:25 – 15:45

第2分科会のテーマ・目的

- テーマ

「水辺の自然、親しみと潤いのある空間、人とのつながり」

- 目的

群馬県は、利根川を大動脈として、各河川が葉脈のように県下全域を張りめぐり、渓谷、滝、湿地、湖等の水が作り出す風景は地域により個性豊かなものになっています。

自然が残されている川は、豊かな人間性を育んでいくために、貴重な環境学習や自然体験活動など地域間交流の場として利用され、また昨年完成した八ッ場ダムもインフラツーリズムなどの観光資源になり、新たなまちづくり、ダム下流住民との交流が生まれるなど、多種多様な価値を生み出しています。

このように人や地域に密接する大切な川。今後益々求められるであろう「水と地域とのつながり」について議論し、目指すべき方向性・向上策を考えます。

第2分科会パネリストのご紹介

- **研究者**

永野博之（群馬工業高等専門学校）

- **協議会関係者**

掛川優子（かなな川水辺の楽校運営協議会）

黒田まり子（富士山集落活性化協議会）

- **報道関係者**

小渕紀久男（上毛新聞社）

コーディネータ：平川隆一（前橋工科大学）

第2分科会の進行

1. パネリストによる「水と地域づくり」の事例紹介

- 1-1. 小淵氏：「水と地域づくり」の歴史・文化・つながり
- 1-2. 永野氏：水辺の自然と「水と地域づくり」への展開
- 1-3. 掛川氏：水辺の楽校を通じた「水と地域づくり」
- 1-4. 黒田氏：ふじやまプロジェクトを通じた「水と地域づくり」

2. 意見交換

第2分科会の意見交換

Q1. 水辺での事故が無くならない中、園児や児童、親世代に、水辺を利用してもらうために大切だと思うことは何ですか？

Q2. 生徒や学生が、進学や就職で県外に出て、その後群馬の水辺空間に戻ってきてくれるために、また、県外在住の方が、群馬の水辺との繋がりを持つために、大切だと思うことは何ですか？

Q3. 各種取組を続けていくために、大切だと思うことは何ですか？